

平成31年度の取り組み予定について

平成 31 年 2 月 27 日

札幌開発建設部 江別河川事務所

1 . 湿原再生ミーティングの取り組み予定

現地調査

- 物理環境調査として、表層地下水の水位・水質調査を継続実施する。
- 自然環境調査として、幌向再生地全体の植物相調査、重点区域の植物調査を継続実施する。

種苗採取・育苗管理

- 湿生植物導入種の種苗採取、育苗管理を継続実施する。
- タテヤマリンドウ、カキラン等、発芽・育苗方法の知見が不足する種については、発芽育苗試験を継続実施する。

湿生植物・ミズゴケ属の導入

- 導入予定種の種苗確保状況を勘案して、重点区域への植生導入を行う。
- 十分な種苗が確保されている種については、一般区域への導入を進める。
- 次年度よりミズゴケの導入を進める。

2 . 利活用ミーティングの取り組み予定

情報発信・PR活動

○ 引き続き、地元やNPO団体等と連携し、イベント活動を継続実施する。

活動予定

ρ 夕張川治水感謝式 7月

ρ 南幌町商工会ふれあいまつり 7月

ρ 野祭（若手農家主催イベント） 7月

ρ 湿原めぐりフットパス 9月頃 

ρ 外来種駆除イベント 10月頃 

注）現時点の予定であり、変更となる場合があります。

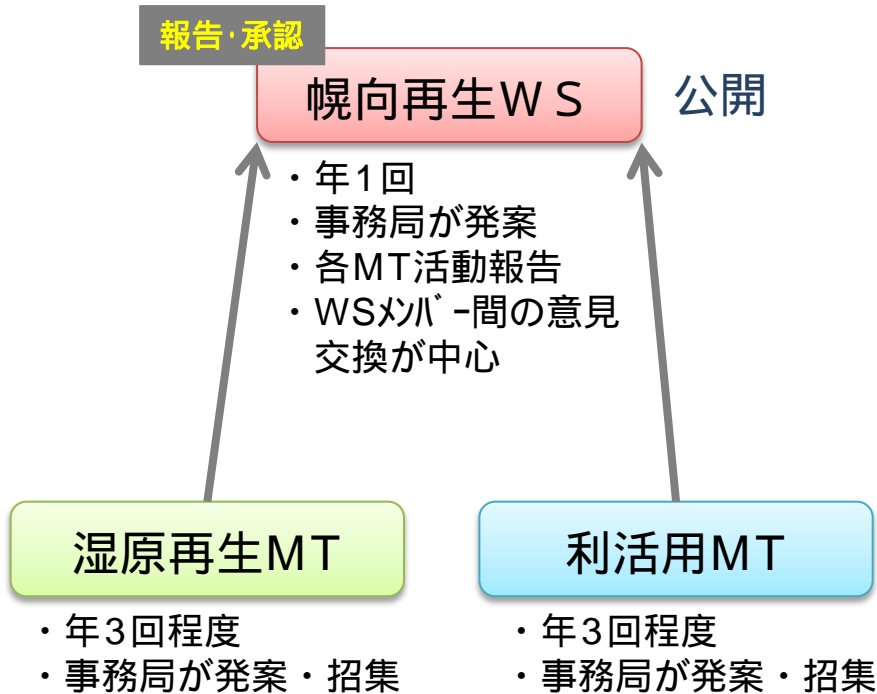
駐車スペースの整備

○ 幌向再生地の利活用環境の向上のため、駐車スペースの整備、湿原景観に馴染む樹木配置等の整備を進める。

3. 次年度のワークショップ開催形式について

I 湿原再生ミーティング、利活用ミーティングの議論をさらに活性化させ、広く一般に情報発信・PRを行い、取り組みのアイデアや活動仲間を増やしていくことを目的に、各ミーティングとワークショップの開催形式を工夫する。

これまで



今後

